

令和8年度 体育 I 年間計画

体育 I 学習の到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育む。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力がある。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲がある。また、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しもうとしている。

《体育受講にあたって》

- ① スクーリング (出席すべき回数) : 10時間
- ② レポート: 2通
- ③ 期末試験の受験・合格

※ ①~③の条件がそろわなければ単位修得はできません。
スクーリングの受講等にあたっては裏面に記載された注意事項を守ってください。

年間計画について 体育 I (2単位)

○ レポート2通

1通目: 体育理論・バスケットボール・テニス

2通目: 体育理論・卓球・バドミントン

○ スクーリング内容 (出席すべき回数: 10時間) **※平日と日曜で回数や種目の区切りの時期が異なるので注意してください。**

スクーリング回数	スクーリング		学習に対応したコンテンツ	
	平日	日曜		
1	オリエンテーション	オリエンテーション		
2	1種目目: 全5回 A: テニス (テニスコート) B: バスケットボール (体育館)	1種目目: 全4回 A: テニス (テニスコート)	マイページ→ITコンテンツ: テニス マイページ→ITコンテンツ: バスケットボール	
3		B: バスケットボール (体育館)		B: バスケットボール (体育館)
4				
5		2種目目		
6				
7	体育理論 (7月)	体育理論 (7月)		
8		2種目目: 全4回 A: 卓球 (体育館) B: バドミントン (体育館)	マイページ→ITコンテンツ: 卓球 マイページ→ITコンテンツ: バドミントン	
9				
10	2種目目: 全4回 A: 卓球 (体育館) B: バドミントン (体育館)	3種目目: 全4回 A: バドミントン (体育館)	マイページ→ITコンテンツ: バドミントン マイページ→ITコンテンツ: 卓球	
11				
12		B: 卓球 (体育館)		
13				
14	3種目目: 全5回 A: バドミントン (体育館) B: 卓球 (体育館)			
15				
16				
17				
18				

評価について

○ 3観点の総合評価で5段階評定。

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点を、レポートとスクーリング、期末試験で総合的に評価し、評定を出します。

※その他わからないことや困ったことがあれば遠慮なく保健体育科の教員に質問や相談をしてください。

★今年度から期末試験を実施します(筆記)。学習のしおりで試験日程を確認し、必ず受験してください。受験をしないと、単位修得ができません。

スクーリングの受講等にあたっては次の事を守ってください。

【スクーリングの出席について】

平日講座	平日の自分が選択した曜日に出席。(他の曜日の出席は不可)
日曜講座	以下の両方に出席できます。 ・割り振られた日曜講座(1~16組:アイ/17~32組:ウエ)に出席可能
継続科目	・科目総合(体育I科目総合、体育科目総合)に出席可能

- ・スクーリングは年間を通して開講されます。
年間指導計画で種目、学習のしおりで日程を確認して出席しましょう。
- ・科目総合のスクーリングには新規・継続両方の生徒が出席することができます。
平日講座の生徒は、出席できません。

【注意事項】

○遅刻・見学について

- ・遅刻は認めていません。
始業のチャイムが鳴る前に更衣をすませ、各場所に集合してください。
- ・見学は認めていません。
体調が整ったらスクーリングに参加しましょう! または、視聴報告を活用してください。

○集合場所・持ち物等について

- ・体育館前のホワイトボードにその日の集合場所を掲示しますので、必ず確認してください。
(原則、年間指導計画の通りですが、天候等で変更の可能性があります。)
- ・持ち物、準備
体育実技ができる服装に着替える。(下記参照)
外種目:外用の運動靴/体育館種目:体育館履き(器械運動は裸足でOK)
筆記用具・バーコードシール・飲み物

○ スクーリングを行う上で、配慮が必要な生徒は必ず申し出るようにしてください。

【体育スクーリング時の服装について】

【服装の例】



けが防止の観点から、伸縮性があるものが好ましいです。
ジャージ素材・スウェット素材を基本とします。
また、夏場は汗をかくので通気性があるものを選び、熱中症予防をしましょう。

【禁止の服装の例】



【体育館履き】



- ひもがある靴
- 外で一度も使っていない靴



- ×ひもがない靴
- ×あまりにも薄い靴(シュノーケル用など)

- 服装はジャージ又はそれに準じたものを着用してください。
(デニム・カーゴパンツ・チノパンツ等私服や体育科の教員が運動に不適とした服装は不可)
- ピアス、ネックレス、指輪、爪等の装飾品は必ず外してください。
(長い爪や爪への装飾など、その他体育科の教員が不適と判断した場合は出席できません)
- 過度な露出がある服装(おなかが出ている、胸元が大きくあいている、短すぎるパンツなど)では参加できません。
- 更衣は体育館下ピロティの更衣室を使用してください。
- 荷物はそれぞれの活動場所に持っていくようにしてください。

令和8年度 体育Ⅱ 年間計画

体育Ⅱ 学習の到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育む。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力がある。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲がある。また、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しもうとしている。

《体育受講にあたって》

① スクーリング(出席すべき回数): 10時間

② レポート: 2通

③ 期末試験の受験・合格

※ ①~③の条件がそろわなければ単位修得はできません。

スクーリングの受講等にあたっては裏面に記載された注意事項を守ってください。

年間計画について 体育Ⅱ(2単位)

○ レポート2通

1通目: 体育理論・サッカー・バレーボール・陸上競技

2通目: 体育理論・器械運動・卓球・バドミントン

○ スクーリング内容 (出席すべき回数: 10時間) ※平日と日曜で回数や種目の区切りの時期が異なるので注意してください。

スクーリング回数	スクーリング		学習に対応したコンテンツ
	平日	日曜	
1	オリエンテーション	オリエンテーション	
2	1種目目: 全5回 A: 器械運動 (武道場) B: 陸上競技 (グラウンド)	1種目目: 全4回 A: 器械運動 (武道場)	マイページ→ITコンテンツ: 器械運動 マイページ→ITコンテンツ: 陸上競技
3		B: 陸上競技 (グラウンド)	
4			
5		2種目目	
6			
7	体育理論 (7月)	体育理論	
8		体育理論 (7月)	
9			
10	2種目目: 全4回 A: サッカー (グラウンド)	2種目目: 全4回 A: サッカー(グラウンド) B: バレーボール(体育館)	マイページ→ITコンテンツ: サッカー マイページ→ITコンテンツ: バレーボール
11			
12	B: バレーボール (体育館)	3種目目: 全4回 A: 卓球 (体育館)	
13			
14	3種目目: 全5回 A: 卓球 (体育館) B: バドミントン (体育館)	B: バドミントン (体育館)	マイページ→ITコンテンツ: 卓球 マイページ→ITコンテンツ: バドミントン
15			
16			
17			
18			

評価について

○ 3観点の総合評価で5段階評定。

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点を、

レポートとスクーリング、期末試験で総合的に評価し、評定を出します。

※その他わからないことや困ったことがあれば遠慮なく保健体育科の教員に質問や相談をしてください。

※卒業年度にあたり、進学・就職にかかわる『調査書』を必要とする者は、

前期成績評価算定に必要なレポート1通合格および5時間以上の出席が必要となります。

★今年度から期末試験を実施します(筆記)。学習のしおりで試験日程を確認し、必ず受験してください。

受験をしないと、単位修得ができません。

スクーリングの受講等にあたっては次の事を守ってください。

【スクーリングの出席について】

平日講座	平日の自分が選択した曜日に出席。(他の曜日の出席は不可)
日曜講座	以下の両方に出席できます。
継続科目	・割り振られた日曜講座(1~16組:アイ/17~32組:ウエ)に出席可能 ・科目総合(体育Ⅱ科目総合、体育科目総合)に出席可能

- ・スクーリングは年間を通して開講されます。
年間指導計画で種目、学習のしおりで日程を確認して出席しましょう。
- ・科目総合のスクーリングには新規・継続両方の生徒が出席することができます。
平日講座の生徒は、出席できません。

【注意事項】

○遅刻・見学について

- ・遅刻は認めていません。
始業のチャイムが鳴る前に更衣をすませ、各場所に集合してください。
- ・見学は認めていません。
体調が整ったらスクーリングに参加しましょう! または、視聴報告を活用してください。

○集合場所・持ち物等について

- ・体育館前のホワイトボードにその日の集合場所を掲示しますので、必ず確認してください。
(原則、年間指導計画の通りですが、天候等で変更の可能性があります。)
- ・持ち物、準備
体育実技ができる服装に着替える。(下記参照)
外種目:外用の運動靴/体育館種目:体育館履き(器械運動は裸足でOK)
筆記用具・バーコードシール・飲み物

- スクーリングを行う上で、配慮が必要な生徒は必ず申し出るようにしてください。

【体育スクーリング時の服装について】

【服装の例】



けが防止の観点から、伸縮性があるものが好ましいです。
ジャージ素材・スウェット素材を基本とします。
また、夏場は汗をかくので通気性があるものを選び、熱中症予防をしましょう。

【禁止の服装の例】



【体育館履き】



- ひもがある靴
- 外で一度も使っていない靴



- ×ひもがない靴
- ×あまりにも薄い靴(シュノーケル用など)

- 服装はジャージ又はそれに準じたものを着用してください。
(デニム・カーゴパンツ・チノパンツ等私服や体育科の教員が運動に不適とした服装は不可)
- ピアス、ネックレス、指輪、爪等の装飾品は必ず外してください。
(長い爪や爪への装飾など、その他体育科の教員が不適と判断した場合は出席できません)
- 過度な露出がある服装(おなかが出ている、胸元が大きくあいている、短すぎるパンツなど)では参加できません。
- 更衣は体育館下ピロティの更衣室を使用してください。
- 荷物はそれぞれの活動場所に持っていくようにしてください。

令和8年度 体育Ⅲ 年間計画

体育Ⅲ 学習の到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育む。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力がある。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲がある。また、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しもうとしている。

《体育受講にあたって》

① スクーリング(出席すべき回数): 10時間

② レポート: 2通

③ 期末試験の受験・合格

※ ①~③の条件がそろわなければ単位修得はできません。
 スクーリングの受講等にあたっては裏面に記載された注意事項を守ってください。

年間計画について 体育Ⅲ(2単位)

○ レポート2通

1通目: 体育理論・テニス・バレーボール・バスケットボール

2通目: 体育理論・サッカー・卓球・バドミントン

○ スクーリング内容(出席すべき回数: 10時間) **※平日と日曜で回数や種目の区切りの時期が異なるので注意してください。**

スクーリング回数	スクーリング		学習に対応したコンテンツ
	平日	日曜	
1	オリエンテーション	オリエンテーション	
2	1種目目: 全5回 A: テニス (テニスコート) B: バレーボール (体育館)	1種目目: 全4回 A: テニス (テニスコート) B: バレーボール (体育館)	マイページ→ITコンテンツ: テニス マイページ→ITコンテンツ: バレーボール
3		2種目目	
4			
5			
6			
7	体育理論 (7月)	体育理論 (7月)	
8			
9			
10	2種目目: 全4回 A: バスケットボール(体育館) B: サッカー(グラウンド)	2種目目: 全4回 A: バスケットボール(体育館) B: サッカー(グラウンド)	マイページ→ITコンテンツ: バスケットボール マイページ→ITコンテンツ: サッカー
11			
12			
13	3種目目: 全5回 A: 卓球 (卓球場) B: バドミントン (体育館)	3種目目: 全4回 A: 卓球 (卓球場) B: バドミントン (体育館)	マイページ→ITコンテンツ: 卓球 マイページ→ITコンテンツ: バドミントン
14			
15			
16			
17			
18			

評価について

○ 3観点の総合評価で5段階評定。

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点を、レポートとスクーリング、期末試験で総合的に評価し、評定を出します。

※その他わからないことや困ったことがあれば遠慮なく保健体育科の教員に質問や相談をしてください。

※卒業年度にあたり、進学・就職にかかわる『調査書』を必要とする者は、

前期成績評価算定に必要なレポート1通合格および5時間以上の出席が必要となります。

★今年度から期末試験を実施します(筆記)。学習のしおりで試験日程を確認し、必ず受験してください。
 受験をしないと、単位修得ができません。

スクーリングの受講等にあたっては次の事を守ってください。

【スクーリングの出席について】

平日講座	平日の自分が選択した曜日に出席。(他の曜日の出席は不可)
日曜講座	以下の両方に出席できます。
継続科目	・割り振られた日曜講座(1~16組:アイ/17組~:ウエ)に出席可能 ・科目総合(体育Ⅲ科目総合、体育科目総合)に出席可能

- ・スクーリングは年間を通して開講されます。
年間指導計画で種目、学習のしおりで日程を確認して出席しましょう。
- ・科目総合のスクーリングには新規・継続両方の生徒が出席することができます。
平日講座の生徒は、出席できません。

【注意事項】

○遅刻・見学について

- ・遅刻は認めていません。
始業のチャイムが鳴る前に更衣をすませ、各場所に集合してください。
- ・見学は認めていません。
体調が整ったらスクーリングに参加しましょう! または、視聴報告を活用してください。

○集合場所・持ち物等について

- ・体育館前のホワイトボードにその日の集合場所を掲示しますので、必ず確認してください。
(原則、年間指導計画の通りですが、天候等で変更の可能性があります。)
- ・持ち物、準備
体育実技ができる服装に着替える。(下記参照)
外種目:外用の運動靴/体育館種目:体育館履き(器械運動は裸足でOK)
筆記用具・バーコードシール・飲み物

○ スクーリングを行う上で、配慮が必要な生徒は必ず申し出るようにしてください。

【体育スクーリング時の服装について】

【服装の例】



けが防止の観点から、伸縮性があるものが好ましいです。
ジャージ素材・スウェット素材を基本とします。

また、夏場は汗をかくので通気性のあるものを選び、熱中症予防をしましょう。

【禁止の服装の例】



【体育館履き】



- ひもがある靴
- 外で一度も使っていない靴



- ×ひもがない靴
- ×あまりにも薄い靴(シュノーケル用など)

- 服装はジャージ又はそれに準じたものを着用してください。
(デニム・カーゴパンツ・チノパンツ等私服や体育科の教員が運動に不適とした服装は不可)
- ピアス、ネックレス、指輪、爪等の装飾品は必ず外してください。
(長い爪や爪への装飾など、その他体育科の教員が不適と判断した場合は出席できません)
- 過度な露出がある服装(おなかが出ている、胸元が大きくあいている、短すぎるパンツなど)では参加できません。
- 更衣は体育館下ピロティの更衣室を使用してください。
- 荷物はそれぞれの活動場所を持っていくようにしてください。

令和8年度 体育特 年間計画

体育特 学習の到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育む。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力がある。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲がある。また、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しもうとしている。

《体育受講にあたって》

- ① スクーリング（出席すべき回数）：5時間
- ② レポート：1通
- ③ 期末試験の受験・合格

※ ①～③の条件がそろわなければ単位修得はできません。
 スクーリングの受講等にあたっては裏面に記載された注意事項を守ってください。

年間計画について 体育特(1単位)

○ レポート1通

体育理論・モルック・ゴルフ・フライングディスク

○ スクーリング内容（出席すべき回数：5時間）※平日と日曜で回数や種目の区切りの時期が異なるので注意してください。

スクーリング回数	スクーリング		学習に対応したコンテンツ
	平日	日曜	
1	オリエンテーション	オリエンテーション	
2	1種目目 モルック	1種目目 モルック	マイページ→ITコンテンツ：モルック
3	(グラウンド)	(グラウンド)	
4	体育理論	体育理論	
5		2種目目 ゴルフ	
6	2種目目 ゴルフ	(グラウンド)	マイページ→ITコンテンツ：ゴルフ
7	(グラウンド)	3種目目 フライングディスク	
8	3種目目 フライングディスク	(グラウンド)	マイページ→ITコンテンツ：フライングディスク
9	(グラウンド)		

評価について

○ 3観点の総合評価で5段階評定。

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点を、レポートとスクーリング、期末試験で総合的に評価し、評定を出します。

※その他わからないことや困ったことがあれば遠慮なく保健体育科の教員に質問や相談をしてください。

※卒業年度にあたり、進学・就職にかかわる『調査書』を必要とする者は、

前期成績評価算定に必要なレポート1通合格および2時間以上の出席が必要となります。

★今年度から期末試験を実施します(筆記)。学習のしおりで試験日程を確認し、必ず受験してください。
 受験をしないと、単位修得ができません。

スクーリングの受講等にあたっては次の事を守ってください。

【スクーリングの出席について】

平日講座	平日の自分が選択した曜日に出席。(他の曜日の出席は不可)
日曜講座	以下の両方に出席できます。
継続科目	・割り振られた日曜講座(2限か4限のどちらか一方)に出席可能 ・科目総合(体育特科目総合、体育科目総合)に出席可能

- ・スクーリングは年間を通して開講されます。
年間指導計画で種目、学習のしおりで日程を確認して出席しましょう。
- ・科目総合のスクーリングには新規・継続両方の生徒が出席することができます。
平日講座の生徒は、出席できません。

【注意事項】

○遅刻・見学について

- ・遅刻は認めていません。
始業のチャイムが鳴る前に更衣をすませ、各場所に集合してください。
- ・見学は認めていません。
体調が整ったらスクーリングに参加しましょう! または、視聴報告を活用してください。

○集合場所・持ち物等について

- ・体育館前のホワイトボードにその日の集合場所を掲示しますので、必ず確認してください。
(原則、年間指導計画の通りですが、天候等で変更の可能性があります。)
- ・持ち物、準備
体育実技ができる服装に着替える。(下記参照)
外種目:外用の運動靴/体育館種目:体育館履き(器械運動は裸足でOK)
筆記用具・バーコードシール・飲み物

○ スクーリングを行う上で、配慮が必要な生徒は必ず申し出るようにしてください。

【体育スクーリング時の服装について】

【服装の例】



けが防止の観点から、伸縮性があるものが好ましいです。
ジャージ素材・スウェット素材を基本とします。
また、夏場は汗をかくので通気性があるものを選び、熱中症予防をしましょう。

【禁止の服装の例】



【体育館履き】



- ひもがある靴
- 外で一度も使っていない靴



- ×ひもがない靴
- ×あまりにも薄い靴(シュノーケル用など)

- 服装はジャージ又はそれに準じたものを着用してください。
(デニム・カーゴパンツ・チノパンツ等私服や体育科の教員が運動に不適とした服装は不可)
- ピアス、ネックレス、指輪、爪等の装飾品は必ず外してください。
(長い爪や爪への装飾など、その他体育科の教員が不適と判断した場合は出席できません)
- 過度な露出がある服装(おなかが出ている、胸元が大きくあいている、短すぎるパンツなど)では参加できません。
- 更衣は体育館下ピロティの更衣室を使用してください。
- 荷物はそれぞれの活動場所に持っていくようにしてください。

令和8年度 保健I 年間計画

学習の到達目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てます。

評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解し、それらに関わる技能を身につけようとしている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて考え判断し、それらを筋道を立てて他者に表現しようとしている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりに関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。

1年間の学習計画

単元	レポート (通数)	学習項目	学習内容	スクーリング	
				平日	日曜
現代社会と健康	1	01 健康の考え方と成り立ち	【教科書】 P. 4～P. 25 【コンテンツ】 NHK高校講座 保健 第1回～第5回、第9回～第10回 【学習の進め方】 ●設問1～3は教科書を活用して自宅で進めましょう。 ●設問4～6はスクーリングや自ら学んだことをいかして考えてみましょう。	1	1
		02 私たちの健康のすがた		2	
		03 生活習慣病の予防と回復			
		04 がんの原因と予防			
		05 がんの治療と回復			
		06 運動と健康			
		07 食事と健康			
		08 休養・睡眠と健康			
	2	09 喫煙と健康	【教科書】 P. 26～P. 49 【コンテンツ】 NHK高校講座 保健 第11回～第12回、第15回～第16回、第18回～第19回 【学習の進め方】 ●設問1～3は教科書を活用して自宅で進めましょう。 ●設問4～6はスクーリングや自ら学んだことをいかして考えてみましょう。	4	2
		10 飲酒と健康			
		11 薬物乱用と健康			
		12 精神疾患の特徴			
		13 精神疾患の予防			
		14 精神疾患からの回復			
		15 現代の感染症			
		16 感染症の予防			
		17 性感染症・エイズとその予防		6	
3	18 健康に関する意思決定・行動選択	【教科書】 P. 50～P. 72 【コンテンツ】 NHK高校講座 保健 第17回、第22回～第26回 【学習の進め方】 ●設問1～3は教科書を活用して自宅で進めましょう。 ●設問4～6はスクーリングや自ら学んだことをいかして考えてみましょう。	7	3	
	19 健康に関する環境づくり				
	01 事故の現状と発生要因				
	02 安全な社会の形成				
	03 交通における安全				
	04 応急手当の意義とその基本				
05 日常的な応急手当					
安全な社会生活	06 心肺蘇生法		8		
			9		

令和8年度 保健2 年間計画

学習の到達目標		
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てます。		
評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解し、それらに関わる技能を身につけようとしている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて考え判断し、それらを筋道を立てて他者に表現しようとしている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりに関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。

1年間の学習計画					
単元	レポート (通数)	学習項目	学習内容	スクーリング	
				平日	日曜
3 単元 生涯を通じる健康	1	01 ライフステージと健康	【教科書】 P.76~P.98 【コンテンツ】 NHK高校講座 保健 第30回~第34回 【学習の進め方】 ●設問1~3は教科書を活用して自宅で進めましょう。 ●設問4~6はレポートの内容を題材として、スクーリングで取り組みます。	1	1
		02 思春期と健康		2	
		03 性意識と性行動の選択			
		04 妊娠・出産と健康			
		05 避妊法と人工妊娠中絶			
		06 結婚生活と健康			
		07 中高年期と健康			
		08 働くことと健康			
		09 労働災害と健康			
		10 健康的な職業生活			
4 単元 健康を支える環境づくり	2	01 大気汚染と健康	【教科書】 P.100~P.109 【コンテンツ】 NHK高校講座 保健 第35回~第36回 【学習の進め方】 ●設問1~3は教科書を活用して自宅で進めましょう。 ●設問4~6はレポートの内容を題材として、スクーリングで取り組みます。	4	2
		02 水質汚濁,土壌汚染と健康		5	
		03 環境と健康にかかわる対策			
		04 ごみの処理と上下水道の整備			
	3	05 食品の安全性	【教科書】 P.110~P.129 【コンテンツ】 NHK高校講座 保健 第37回、第39~42回 【学習の進め方】 ●設問1~3は教科書を活用して自宅で進めましょう。 ●設問4~6はレポートの内容を題材として、スクーリングで取り組みます。	7	3
		06 食品衛生にかかわる活動		8	
		07 保健サービスとその活用			
		08 医療サービスとその活用			
		09 医薬品の制度とその活用			
		10 さまざまな保健活動や社会的対策			
		11 健康に関する環境づくりと社会参加			